事例No.	1421
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	宮崎県西都市

事例区分	一般行政

タグ	・地域運営組織 ・（行政改革）業務の効率化 ・人材確保・育成

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

地域林政アドバイザー・森林境界明確化

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

宮崎県　西都市（地域林政アドバイザー・森林境界明確化）

- 西都市では、市内の私有林等の伐採において、誤伐や盗伐が問題となっていたことから、森林環境譲与税を財源として、誤伐・盗伐を防止するため、伐採届出に伴う現地確認等の業務や伐採後の再造林を推進し、森林整備を行うため地域林政アドバイザー業務を児湯広域森林組合に委託している。
- また、森林の境界の明確化を行い、令和３年度実施予定の森林所有者意向調査で利用することとしている。

□　事業内容

1　伐採届出時の現地立会と伐採後の再造林の推進等の森林整備への支援（西都市地域林政アドバイザー業務）

- アドバイザー、伐採届出時の森林所有者、伐採業者の3者で現場立会を行い、境界の確認や搬出時のルート確認を実施。また伐採後の再造林の推進のため、業者等に対し指導や助言等も実施。伐採前に現地を確認することで誤伐の防止にも繋がっている。

【事　業　費】2,200千円（全額譲与税）

【実　　績】現地確認件数R2実績で100件

2　森林所有者への意向調査に向けた準備作業（境界明確化事業）

- 意向調査実施前の説明会において、所有者が実際の森林の状況を現地に行かずに確認できるよう、森林現況や境界案を示した図面を作成した。

【事　業　費】6,930千円（全額譲与税）

【実　　績】境界案の図面作成：600ha

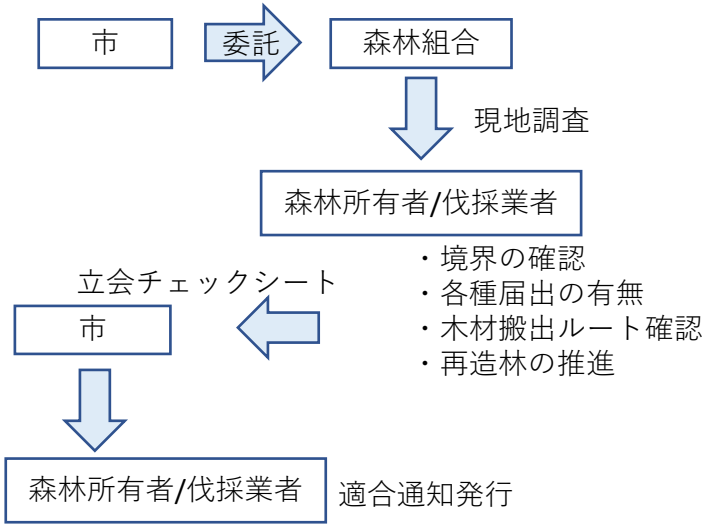




（事業１：現地確認の様子）

□　事業スキーム

1　地域林政アドバイザー業務



◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	37,928千円
②私有林人工林面積（※１）	6,396ha
③林野率（※２）	77%
④人口（※３）	30,683人
⑤林業就業者数（※３）	145人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より